

【広東省・広州市・深圳市週報】

7月18日～7月24日

1. 広東省

1. 反腐敗にかかる処分

●22日午後、広東省紀律検査委員会は、宋徳平・元仏山市副市長を重大な紀律違反で調査中であると伝えた（7月23日付『広州日報』）。

2. 貿易の回復に対する監督・指導・視察

●全国貿易業務会議の精神、省党委員会・省政府による貿易の回復促進に関する手配を貫徹・実行するため、19日、何忠友・副省長が広州市で監督・指導を行なった（7月20日付『南方日報』）。

●19日、何忠友・副省長が税関総署広東分署を視察し、越境電子商取引等、貿易の新業態の育成に力を入れ、輸出のプラス成長を実現するため、新たな貢献をしていくよう指示（7月20日付『南方日報』）。

●20日、何忠友・副省長が深圳市で貿易の回復促進に関する監督・指導を行い、電子商取引等、新業態を発展させ、輸出を促進するよう指示（7月21日付『南方日報』）。

3. 朱小丹・省長が上海市を視察

●18日～20日にかけて、朱小丹・省長率いる省政府代表団が上海市の科学技術イノベーションを視察し、両地域の科学技術協力を更に強化していくことで合意。楊雄・上海市長が視察に同行（7月21日付『南方日報』）。

4. 広東・上海・天津パブリック・ディプロマシーに関する座談会の開催

●20日、仏山市で上記座談会が開催され、パブリック・ディプロマシーの経験について総括し、パブリック・ディプロマシー事業における新たな実践について共同討議。王栄・省政協主席が出席し挨拶（7月21日付『南方日報』）。

※パブリック・ディプロマシー（対市民外交、広報外交）：伝統的な政府対政府の外交とは異なり、広報や文化交流を通じて、民間とも連携しながら、外国の国民や世論に直接働きかける外交活動。

5. 胡春華・省党書記が呉克儉・香港教育局局長一行と会談

●21日午前、上記会談で胡春華・省党書記は、引き続き高等教育における実務レベルでの協力を深めていきたいと伝えた（7月22日付『南方日報』）。

6. 省政府党組織会議の開催

●21日午前、朱小丹・省長主宰の上記会議が開催され、習近平・総書記の安全な生産に関する重要講話の精神を真剣に学習。深圳市光明新区の痛ましい土砂崩れ事故の教訓を深く検討。省全体で安全な生産に関する業務を全面的に強化すべく検討・手配（7月22日付『南方日報』）。

7. 省政府常務会議の開催

●21日午前、朱小丹・省長主宰の上記会議で、すべての人々のための金融発展の推進、省級財政専用資金（特別会計）管理の強化、省農業信用貸付担保有限責任会社の設立等について検討・業務手配（7月22日付『南方日報』）。

8. 省人代常務委員会理論学習チームによる会議の開催

●21日午前、黄龍雲・省人代常務委员会主任主宰の上記会議が開催され、習近平・総書記の立法業務に関する重要講話の精神等について学習・伝達（7月22日付『南方日報』）。

9. 全省各地級市政協業務交流会の開催

●21日午前、仏山市で上記交流会が開催され、習近平・総書記の「七一」重要講話の精神を深く学習・貫徹。王栄・省政協主席が出席（7月22日付『南方日報』）。

10. 省党常務委員会議の開催

●22日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、中央による東西部貧困救済協力座談会の精神を伝達・学習。胡書記は貧困救済協力、ペアリング支援の任務を断固完成するよう強調（7月23日付『南方日報』）。

11. 第109回「広東学習フォーラム」報告会の開催

●22日午後、省党委員会理論学習チームによる上記報告会が開催され、「対外開放の深化、国際競争力の強化」について学習。張向晨・国家商務部党組織メンバーがガイダンス（7月23日付『南方日報』）。

12. 省水害・干ばつ防止総指揮部による2016年第2回全体会議の開催

●22日午後、胡春華・省党書記、朱小丹・省長の指示に基づき、上記会議が開催され、習近平・総書記の水害防止・災害救助業務に関する重要講話の精神、省党・政府による関連会議の精神を真剣に貫徹・実行し、本年の三防業務を全面的に総括。鄧海光・副省長が次の業務を細かく手配（7月23日付『南方日報』）。

13. 広東自貿区で広東・香港間の電子小切手決済を率先して実現

●22日、広州市で中国人民銀行広東支店と香港金融管理局が「広東・香港電子小切手決済業務」について、全国に先駆け、広東自貿区で香港電子小切手決済を開始すると共同発表。これは、本年の広東自貿区における金融改革イノベーションの新たな取り組みである（7月23日付『南方日報』）。

14. 胡春華・省党書記、朱小丹・省長が苗圩・工業・情報化部副部長等と会談

●23日午後、胡春華・省党書記、朱小丹・省長が全国スマート製造試行地区モデル経験交流会に出席するため広東省を訪れた苗圩・工業・情報化部副部長、周濟・中国工程院院長と会談し、広東省に対する指導とサポートの強化を要望（7月24日付『南方日報』）。

15. 珠海市で世界最大の水陸両用機AG600を公開

●23日、珠海市で世界最大の水陸両用機AG600の最終組立てが完成した。森林火災の消火、海上救助等の特殊任務に用いられる予定（7月24日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 反腐敗にかかる処分

●21日午前、広州市紀律検査委員会は馮軍・広州市政府副秘書長を重大な紀律違反で取り調べ中であると伝えた（7月22日付『広州日報』）。

2. 18日、任学鋒・市党書記がCCL・コスタクルーズ・アジア総裁一行と会談（7月19日付『広州日報』）。

※CCL：カーニバル・クルーズライン。カーニバル・グループの中核企業。本社は米マイアミ州。

3. 市政府党組織会議の開催

●18日午後、温国輝・市長主宰の上記会議で、習近平・総書記の「七一」講和の精神を学習・貫徹（7月19日付『広州日報』）。

4. 20日晚、温国輝・市長が呉克儉・香港教育局局長一行と会談（7月21日付『南方日報』）。

5. 2016年上半年期経済動向分析会の開催

●22日午前、温国輝・市長主宰の上記分析会が開催され、関連部門、各区政府から上半期の経済動向について聴取。上半期の成績はGDP総額：約8,844億元（前年同期比8%増）、一般公共予算収入：9.8%増、固定資産投資：13.4%増、民間投資：18.9%増、社会消費小売：8.4%増、インターネット販売額：23.9%増、越境電子商取引による貿易額：94.6%増、イノベーション型企業の成長も速く、特許認可件数：31.8%増、新規登録国内企業数：42.6%増だった（7月23日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 国家中小企業発展基金の支部が深圳市に設立

●上記基金の設立は萌芽期、成長の初期段階にある中小企業の発展や新製品の発表に対する国务院の重要な措置である。投資対象は全国の優秀な中小企業であり、深圳市も含め創立して間もなかったり、成長型、イノベーション型の中小企業を助け、イノベーション起業・産業の高度化・インキュベーター・技術をめぐるM&A等の分野に対するサポートを含む（7月18日付『深圳特区報』）。

2. 深圳市の電子商取引動向

●17日午後、市政協主催のイベント（「委員議事庁」）で、深圳市の電子商取引総額が7年で11倍、年平均成長率も40%以上と、発展が著しいことが話題になった。戴北方・市政協主席等が同イベントに出席（7月18日付『深圳特区報』）。

※2008年1,500億元→2015年1.72兆元（全国の電子商取引総額の9.68%を占める）。

3. 区レベルの指導者チーム入れ替え業務座談会の開催

●18日午前、許勤・市長主宰の上記座談会が開催され、馬興瑞・市党書記が3つの要求を出した。第1に、思想を統一し、責任をしっかりと心に刻み、この度の入れ替え業務をきちんを行うことの重要な意義を深く認識すること。第2に、任務を明確にし、重点を強調し、入れ替え業務の「三大任務」をしっかりと把握すること。第3に、責任を負い、指導を強化し、入れ替え業務を円満に終えなければならない（7月19日付『深圳特区報』）。

4. 董建華・全国政協副主席（元香港特別行政区長官）一行が深圳市を視察

●18日、董建華・全国政協副主席一行が深圳市を視察に訪れ、馬興瑞・市党書記、戴北方・市政協主席が同行。董副主席は深圳市が民間シンクタンクの機能を更に発揮し、広く多元的なコミュニケーション・交流プラットフォームを更に構築し、より多くの協力・共通認識を凝集し、深圳・香港間の協力を新たな水準にステップアップさせてほしいと要望（7月19日付『深圳特区報』）。

5. 許勤・市長が北京で改革深化・創新駆動に基づく新經濟発展検討会に出席

●19日午前、許勤・市長が国家行政学院、国务院参事室主宰の上記検討会に招かれ、イノベーションが新たな動力となり、モデルチェンジが新經濟を發展させると述べた（7月20日付『深圳特区報』）。

6. 馬興瑞・市党書記が中央東西部貧困救済協力座談会で発言

●馬興瑞・市党書記が19日～20日にかけて寧夏回族自治区で開催された視察並びに上記座談会に出席。馬書記は労働力面での協力を強化し、精緻な貧困救済を急ぎ、深圳經濟特区は全面的な小康社会實現のために新たな貢献をしていくと表明（7月21日付『深圳特区報』）。

●21日、馬興瑞・市党書記主宰の市党常務委員會議が開催され、習近平・総書記が中央東西部貧困救済協力座談会で述べた重要講話の精神を伝達。馬書記は強い政治的責任感を持ち、東西部の貧困救済協力をしっかりと実行し、全国の全面的な貧困救済の戦いに打ち勝つために貢献していくと強調（7月22日付『深圳特区報』）。

7. 市政府常務會議の開催

●20日午前、許勤・市長主宰の上記會議で、「深圳市市直属部門の行政権限取りやめ・移転・移譲リスト（2016年）」について審議し採択（7月21日付『深圳特区報』）。

8. 全市指導幹部テレビ電話會議の開催

●21日昼、許勤・市長主宰の上記會議が開催され、馬興瑞・市党書記が次のように強調した。全市で習近平・総書記の安全な生産及び増水期の安全予防業務に関する重要指示、李克強・総理の重要指示・要求を断固貫徹・実行する。安全な生産や都市の公共安全面に存在する問題を深く反省し、安全な生産に対する責任制を適切に実行する。強力な措置を講じ、厳しく実行する。1つのことから多くを知り、市民に対するきわめて強い責任感を持って、しっかりと具体的な業務に取り組み、全面的に都市管理という困難な戦いをうまく戦っていこう（7月22日付『深圳特区報』）。

9. 前海・蛇口エリア及び前海深圳・香港協力区の開発・建設に関する指導チーム会議の開催

● 21日午後、馬興瑞・市党書記主宰の上記会議が開催され、高基準の計画で発展させ、本気で難題を解決していくことで、広東自貿区の建設を進め、迅速に新たな成果を示すよう強調（7月22日付『深圳特区報』）。

10. 市政府党組織会議・常務会議の開催

● 21日、許勤・市長主宰の上記会議で、習近平・総書記の安全な生産及び増水期の安全予防業務に関する重要指示、李克強・総理の重要指示、国務院・省政府の安全な生産に関するテレビ電話会議、全市指導幹部テレビ電話会議の精神を伝達し貫徹させた（7月22日付『深圳特区報』）。

11. 馬興瑞・市党書記が黒龍江省双鴨市視察団一行と会談

● 22日午後、馬興瑞・市党書記が宋宏偉・双鴨市長率いる視察団一行と会談し、両市がそれぞれの強みを発揮し、より多くの協力プラットフォームを構築しながら、引き続きグリーン農産物、ミネラル資源等の分野で協力を強化していきたいと伝えた（7月23日付『深圳特区報』）。

12. 高速ブロードバンド衛星通信システムの建設に着手

● 23日午前、深圳市政府と中国航空宇宙科学技術集団公司在高速ブロードバンド衛星プロジェクトに署名。併せて、アジア太平洋衛星ブロードバンド通信（深圳）有限公司の設立式が行われた。馬興瑞・市党書記、雷凡培・中国航空宇宙科学技術集団公司董事長が署名式、設立式に出席（7月24日付『深圳特区報』）。